

山口県感染症発生週報

(第27週:2019年7月1日～7月7日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核:第26週追加 1例(下関)、第27週 4例(下関1例、山口1例、宇部2例)

【4感染症】

・デング熱:第26週追加 1例(柳井)
・レジオネラ症: 1例(山口)

【5類感染症】

・急性脳炎: 第26週追加 1例(周南)
・劇症型溶血性レンサ球菌感染症:2例(柳井、宇部)
・梅毒: 3例(山口)
・播種性クリプトコックス症: 1例(防府)
・百日咳:第26週追加 1例(岩国)、第27週 5例(岩国4例、周南1例) 咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。予防接種の対象者で、まだ接種をしていないお子様は早めに接種を行ってください。



手足口病(鈴木小児科医院提供)

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

・手足口病:多くの地域で増加しており、過去5年間で最も多い状況です。県全体で警報レベルが続いており、注意が必要です。[警報レベル:下関(4週目)、岩国(1週目)、柳井(3週目)、周南(4週目)、防府(2週目)、山口(5週目)、宇部(5週目)、長門(1週目)、萩(2週目)]*
・ヘルパンギーナ:防府で増加し、警報レベルとなりました。宇部で警報レベルが続いています。夏季に流行するとされる疾患ですので、今後の動向に注意が必要です。[警報レベル:防府(1週目)、宇部(4週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	25週	26週	27週	疾患名	25週	26週	27週
インフルエンザ	0	0	0	ヘルパンギーナ	139	149	194
RSウイルス感染症	25	10	10	流行性耳下腺炎	6	5	3
咽頭結膜熱	12	13	17	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	75	65	44	流行性角結膜炎	3	2	2
感染性胃腸炎	212	191	140	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	6	5	9	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	411	519	717	マイコプラズマ肺炎	5	5	0
伝染性紅斑	24	33	16	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	29	29	23	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	3	1	0	2	2	2	0	0	0	10
咽頭結膜熱	2	3	1	3	1	0	6	0	1	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	4	2	9	2	7	1	1	1	44
感染性胃腸炎	31	3	5	34	5	17	29	2	14	140
水痘	0	4	2	0	0	2	0	0	1	9
手足口病	143	30	35	216	37	53	108	21	74	717
伝染性紅斑	1	0	0	3	2	4	6	0	0	16
突発性発しん	1	1	0	6	1	5	8	1	0	23
ヘルパンギーナ	38	10	16	44	24	10	49	1	2	194
流行性耳下腺炎	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 感染症発生動向調査における病原体検出情報

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS):重症熱性血小板減少症候群ウイルス(検体採取週 第26週)が検出されました。